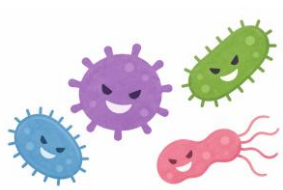
細菌検査（さいきんけんさ）ってなあに？



©joshibi

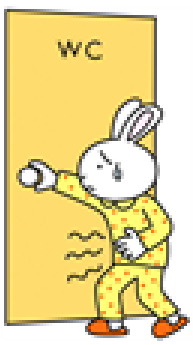
さいきんけんさ 細菌検査ってなあに？

みなさんのまわりには目(め)に見(み)えない
小(ちい)さな「細菌(さいきん)」というバイキンがいます。
病気(びょうき)を起(お)こす細菌(さいきん)がからだに入ると、
熱(ねつ)が出(で)たり、おなかが痛(いた)くなったり…。
細菌検査(さいきんけんさ)では血(ち)やおしっこやうんち
などの中(なか)から病気(びょうき)を起(お)こす悪(わる)い細菌(さいきん)を
見(み)つけ出(だ)し、その細菌(さいきん)をやっつける
お薬(くすり)を調(しら)べています。

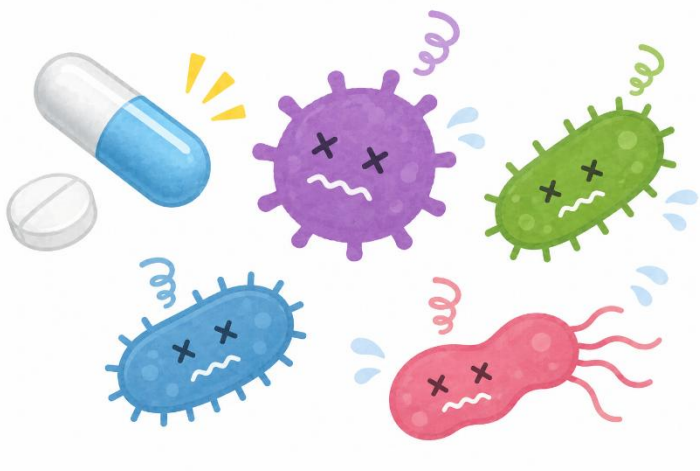








さいきん　ちい　いきもの
細菌はとても小さい生き物です。
め　み　そだ
目に見えるまで育てないといけない
み　すこ　じかん
ので、見つけるまで少し時間がかか
ります。
けんさ　けっか　いしゃ
検査の結果がわかるまで、お医者さ
とう　かあ　い
んやお父さん、お母さんの言うこと
き　くすり　の　ま
を聞いてお薬をちゃんと飲んで待っ
ててください ね。



細菌検査室から保護者の方へ

何らかの原因で細菌などの微生物が身体の中に入り込んで病気を引き起こすことを「感染」と言います。

また、薬を飲んだり他の病気の影響で身体内の細菌のバランスが崩れた時に、口の中や腸の中に元々いた細菌が別の場所に入り、感染が起こることもあります。

細菌検査は感染が起きていると思われる部位から痰・尿・便・血液・髄液などの検査材料を取って、病気の原因となる細菌を見つける＋どの抗菌薬が効くのかを調べる検査です。

検査材料に周辺環境などにいる細菌が混ざると正しく検査ができなくなるため、医師の指示通りに病院の専用容器で採取することも適切な検査を行う上で重要です。



主な感染起因菌たち

痰：肺炎球菌　インフルエンザ菌　結核菌

尿：大腸菌　腸球菌

便：カンピロバクター　O157

膿：黄色ブドウ球菌　など